

# アルツハイマー型認知症早期発見の第一歩に

## タッチパネルパソコンとの対話方式による 物忘れ相談プログラム

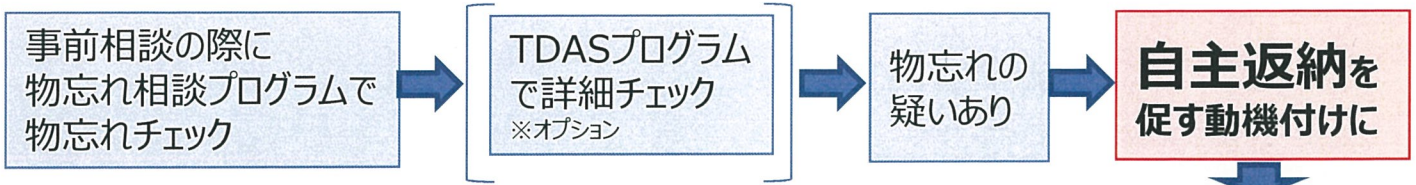


- 特徴**
- ・質問者がいないため、低ストレスでテストが可能です。
  - ・テスト時間はプリントアウトを含めて約5分です。
  - ・感度96%。特異度97%と高い信頼性（鳥取大学医学部のデータ※1による）。

**画面例**

言葉の即時再認・遅延再認      日時の見当識      図形の認識 1

### 物忘れ相談プログラムを活用した運用フロー例



#### 自主返納によるメリット

- ・「**運転経歴証明書**」カードの入手が可能に

自治体によりバスやタクシー、鉄道、各種施設などの割引等の特典があります。

※免許を取り消された場合、**運転経歴証明書**は発行してもらえません。

- ・**交通事故の未然防止**

## 認知機能検査を強化する改正道交法 3月12日に施行

高齢運転者の交通事故抑制へ、認知機能検査を強化する改正道交法が3月12日に施行される。「認知症の恐れ」との判定で医師の診断が求められるようになるが、**医師側は「診断は困難な場合があり、診断によっては医師が事故の責任を問われる可能性もある」**などと負担と責任の大きさを不安視する声もある。

改正法では、75歳以上の運転者は3年に1度の免許更新時に加え、信号無視や逆走など認知症の影響と見られる特定18項目で違反した場合にも認知機能検査が義務付けられる。検査で「認知症の恐れがある（1分類）」と判定されると、医師の診断を受けなければならない。

認知症の診断には、問診や認知機能テスト、血液検査、頭部CTなど受診が数回に及ぶこともあり、医師や対象者の負担は少なくない。さらに「**認知症ではないと診断した高齢者が人身事故を起こし、医師が訴えられるケースも懸念されている**」という。

「福井新聞 FUKUISHIMBUN ONLINE」  
 <<http://www.fukuishimbun.co.jp/localnews/society/114934.html>>  
 (2017/2/15アクセス)

#### 道路交通法による認知症対策

